

平成20年度夢づくり協働推進事業の実施状況 11

事業名

晴れ晴れ子育て応援事業

事業の概要

支援者育成やつながりづくりを行いたい地域にNPOと県民局が出向き、市町と連携しながら、子育て支援を行う、または行いたいと考える個人や団体等と共に実行委員会を立ち上げ、子育て支援に関するワークと併せ、親子ふれあいイベント実施などの一つの目的に向かって、参加者同士で意見交換や学び合いを行い、共に汗をかくことによって相互理解や関係を深め、地域ニーズに沿った子育て支援事業の創出と、事業終了後にも続く支援者同士のつながりづくりを行った。

協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担
NPO 法人保育サポート「あい・あい」 NPO 法人子ども劇場笠岡センター	高梁（あい・あい）、矢掛（子ども劇場）地域における事業の受託実施、実行委員会が行う事業の企画・立案のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関するワーク実施 ・実行委員会が行う地域に必要な子育て支援事業企画・立案のサポート 実行委員会構成員
ファミリーサポートセンター、たかはしレクリエーション協会、高梁保育子育て支援センター、おはなしたまてばこ、川上子育てサポーター、高梁市子供会連合会、高梁の福祉を考える会、主任児童委員、親子クラブ、地域の子育てボランティア	実行委員会構成員（高梁） <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関する知識習得、学び合い ・実行委員会構成員（町外NPO、高梁市、県民局含む）相互の情報交換、つながりづくり ・つながりづくりの一環として地域に必要な子育て支援事業企画・実施
親子クラブ、子育てサークル tomato クラブ、絵本の会「ゆめ」、読み語りサークル「コロポックル」、人形劇サークル「じゃんけん・ぽん」、主任児童委員、備中西商工会矢掛支所婦人部、矢掛高校ボランティア部、矢掛町子育て支援センター、NPO法人ゆめ21やかげ、NPO法人倉敷子育てネットワークたんぽぽファミリー	実行委員会構成員（矢掛） <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関する知識習得、学び合い ・実行委員会構成員（町外NPO、矢掛町、県民局含む）相互の情報交換、つながりづくり ・つながりづくりの一環として地域に必要な子育て支援事業企画・実施
高梁市、矢掛町 県民局（健康福祉部）	事業実施、広報等の協力 実行委員会構成員

実施状況

1 晴れ晴れ子育て応援事業高梁地域実行委員会

平成20年8月19日の第1回目の実行委員会開催を含め計5回の実行委員会を開催し、子育て支援に関する知識等習得、つながりづくりの一環として、子育てブック、マップの作成、子育て応援ふれあいひろば「たかはし親子であそぼう！」を実施した。また、第6回目の実行委員会を11月28日に開催し、この事業を振り返った。

(1) 実行委員会

- ① 子育て支援にあたっての基礎知識に関する学び
 - ・アサーティブトレーニング（傾聴と自己表現トレーニング）
 - ・障がい理解
 - ・遊びの伝承
 - ・ヒヤリ・ハットの事例研究
- ② 実施プログラムへの取り組み
 - ・地域の子育てをとりまく課題の抽出
 - ・課題解決のためのプログラム検討
 - ・所属団体等にこだわらないチーム編成
 - ・手作りおもちゃ製作
 - ・子育て応援ブック・マップ製作



アサーティブトレーニング



遊びの伝承



マップづくり



おもちゃづくり



たかはし子育て応援マップ

(2) 「たかはし親子であそぼう！」

- ① 日時：平成20年11月22日(土) 10:00～12:30
- ② 場所：高梁市勤労青少年ホーム
- ③ 内容：マップ展示、ブック配布、手作りボウリング、新聞紙プール、手作りもぐらたたき、玉入れ、お絵描き、ぬりえ、親子体操等
- ④ 参集人数：約110人（スタッフ含む。）



《実行委員感想抜粋》

「最初は事業趣旨がよく分からなかったが、回を重ねていくごとに少しずつ理解できた」
「出会えた方々と、これからもつながりを深めていきたい」「マップやブックを自分たちの手で育てていきたい」等

2 晴れ晴れ子育て応援事業矢掛地域実行委員会

平成20年8月22日の第1回目の実行委員会開催を含め計5回の実行委員会を開催し、子育て支援に関する知識等習得、つながりづくりの一環として、「晴れ晴れ子育て応援事業 i n 矢掛 みんなあつまろうキッズひろば」を実施した。

また、第6回目の実行委員会を12月18日に開催し、この事業を振り返った。

(1) 実行委員会

①地域子育て支援の理解とつながりをもった子育て支援の効果への学び

- ・子どもをとりまく現状「今の子育て・昔の子育て」
- ・子育てNPO活動の事例紹介
- ・コミュニケーションワーク
- ・地域ぐるみの子育て支援の意義（グループワーク）
- ・相互理解と価値観の共有（グループワーク）
- ・子育て支援のポイント



本日のゴール(目標)	子育て支援ポイント!
<p>1. すべての子どもたちが豊かに育つ環境をつくるために、子育て支援者のネットワークの(つながっていく)意義(メリット)を再確認。</p> <p>2. ネットワークとして、つながっていくために、何をすべきかを確認し、できることを考えましよう。→意識してやると効果的!</p>	<p>①ワークショップにそれぞれの子育て支援の経験を語りあえる。</p> <p>②ワークショップのポイントをしっかりと捉えて、自分自身も大事にした「やりがい感」にきたるポイントを確認する。</p> <p>③ の雰囲気についてグループで情報交換。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんを丸ごと受け入れる ・支援者の価値観を押しつけない ・地域につながる関係性をつくる ・守秘義務を守る



②実施プログラムへの取組

- ・地域の子育てをとりまく課題の抽出
- ・課題解決のためのプログラム検討
- ・自分たちの「やりたいこと」に関する意見交換
- ・それぞれの得意分野を活かしたプログラムの企画

(2) 「晴れ晴れ子育て応援事業 I N 矢掛 みんなあつまろうキッズひろば」

①日時：平成20年12月7日(日) 10:00~13:00

②場所：矢掛町農村環境改善センター

③内容：段ボールトンネル、ボールプール、ハンドマッサージ、おもちゃ遊び
じゃんけん列車、読み語り、読み聞かせ、ママカフェ、もちつき 等

④参加人数：約600人（スタッフ含む。）



《実行委員感想抜粋》

「子育て支援について話し合いを重ねることにより様々な思いを知り、理解し、ひとつにまとまれた」「思いを共有し、後につながるつながりができた」「自分でもできることがあるということが分かった」「お母さんたちの力に驚いた。これからは一緒に力を合わせていけると感じた」等

成果・効果

- 1 支援者育成・資質向上、つながりづくりを目的に、子育て支援の現状や支援のノウハウなどに関するワークを実施し、その一環として、子育て応援ブック、マップ作成、親子ふれあいイベント開催など、子育て支援事業を企画、実施した。
ワークや子育て支援事業企画実施などを通じて、参加者同士（NPO、市町、県民局含む）時には衝突しながら議論し、共に汗をかくことにより、相互理解を深めあうことができた。また、各実行委員会の取組にNPOが相互参加することにより、実績あるNPO同士の交流を行うことができた。
- 2 参加者には、「自分でもできることがある。ということが分かった。」、「何かをすれば、意見を言えば思いが現実になることを知った。地域の方の存在の大きさを知り感謝している。」、「親も支援者になれるんだと分かった。」、「町民性から協力・連携は難しいことだと思われていましたが、実行委員会として一つにまとまったと思います。皆さんと知り合え、つながりができました。」「新しい感覚を教えてくださいました。」など多くの気づきがあり、地域全体で子育てに取り組む気運も高まった。
- 3 この事業で作り上げたつながりやブック、マップ、親子交流イベントなどを地域で育てていくことが期待され、新たな子育て支援の拠点づくりなどへもつながっていく可能性もあるのではないかと考えている。
- 4 子育て支援に関するワークと実際の地域子育て支援の取組をセットとして実施することで、参加者相互が理解し合い、つながりが深まり、そのつながりを活かして地域ニーズに沿った子育て支援事業を創出するという事業の手法が、新しい気づきや地域ぐるみの子育て支援において有効であることを検証することができた。